

ニッポン高度紙工業株式会社

セパレータ紙製造において培った微細化技術をベースに開発した
超微細径のセルロースマイクロファイバー

新規性：
数百 nm 径の超微細繊維

| | | | |
|----------|----------------------------------|---------|----------------------------|
| 代表者名 | 近森 俊二 | 窓口担当 | 福永 了一 |
| 電話/FAX番号 | 088-894-232 / 088-894-5401 | E-mail | fukunaga@kodoshi.co.jp |
| 住所 | 〒781-0395 高知県高知市春野町弘岡上 648 番地 | | |
| 主要製品 | アルミ電解コンデンサー用ならびに電池用セパレータ | | |
| 事業内容 | (日本標準産業分類、中分類): パルプ・紙・紙加工品製造業 | URL | https://www.kodoshi.co.jp/ |
| 資本金 | 22億4,174万円 | 設立年月 | 1941年8月 |
| | | 売上(百万円) | 18,074 |
| | | 従業員数 | 414人 |

セルロースマイクロファイバー (CMF)

【適用可能分野】 プラスチックフィラー

【開発レベル】 アイデア段階 試作/実験段階 開発完了段階 製品化段階

【特許の有無】 (有 無)

【業種】
(日本標準産業分類、中分類):
パルプ・紙・紙加工品製造業

(1) 技術の特徴・優位性 弊社開発品 -セルロースマイクロファイバー (CMF) とは-

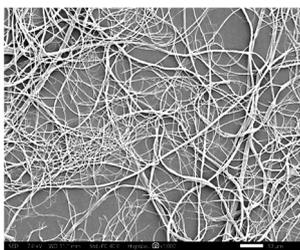
超微細径のセルロースファイバーです。プラスチックへの強化フィラー等として活用できます。

- 乾燥体であるため、取り扱いが比較的容易です。
- ほぼ平均繊維径が数百 nm の超微細繊維で構成され、高アスペクト比な形態が特徴です。それゆえ、比表面積が大きく、プラスチック強化用添加剤等として活用できます。
- セルロース純度が非常に高いため、成形プロセス等で着色や臭いの発生がほとんどありません。
- 繊維同士の凝集が少ないため、分散性が比較的良く、配合量に応じ、安定した強度が得られます。
- 独自製法のため、イオン性不純物等がほとんどないため、汚染に対し安心して適用できます。
- 生分解性を有し、環境にやさしい材料です。

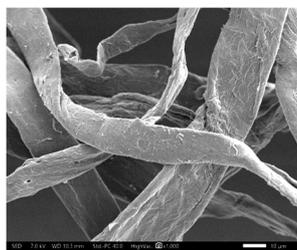
(2) 適用分野 新規プラスチック強化用フィラーとして活用できます。



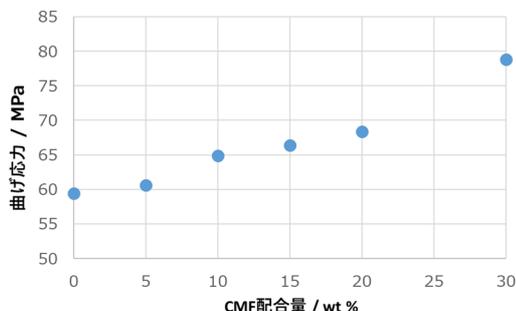
外観



繊維径比較 (左)弊社 CMF (右)一般的パルプ



PP 複合 CMF 30 wt % 配合品
(上) ペレット、(下) 試験片



| | 弊社CMF | ガラスファイバー | 一般的なCNF |
|----------|-------|----------|---------|
| 補強効果 | ○ | ◎ | ○ |
| 分散性 | ○ | ○ | △ |
| 耐熱性 | △ | ◎ | △ |
| 水平リサイクル性 | ◎ | × | ◎ |
| 着色自由度 | ◎ | ◎ | × |

知財・受賞歴・PR事項等

特許出願済 (2022年2月に出願し、公開請求等していない状態)

希望提携内容

CMF を適用していただける企業様を希望しております。